

## 平成30年度 シラバス

|      |                       |     |               |          |           |
|------|-----------------------|-----|---------------|----------|-----------|
| 教科   | 国語                    | 科目  | 現代文B          | 学年 学科 類型 | 3年 商業科 I型 |
| 単位数  | 2                     | 教科書 | 新編現代文B (東京書籍) |          |           |
| 副教材等 | 新編現代文B 学習課題ノート (東京書籍) |     |               |          |           |

|       |   |
|-------|---|
| 学習の目標 | 1 近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を育てます。<br>2 論理的思考力や想像力を身に付け、自分の意見を的確に表現する力を養います。 |
| 学習の方法 | ・授業に集中して取り組み、本文を要約したり、自分の考えを書いたり発表したりする活動に積極的に参加しましょう。また、ノートの整理などもきちんとしておきましょう。<br>・学習課題ノートの問題を解いたり、漢字や語句の意味を調べたりして、語彙力を高めましょう。         |

| 学期            | 単元   | 学習内容とねらい  | 観点別評価 |   |   |   |   |
|---------------|------|---|-------|---|---|---|---|
|               |      |   | ①     | ② | ③ | ④ | ⑤ |
| 1<br>学期<br>中間 | 評論1  | ・「有限の立場」とはどのような立場かを理解します。<br>・現代において、私たちはどのようにして判断し行動すればいいかを考えます。                   | B     | — | A | — | B |
|               | 小説1  | ・登場人物の状況と人物像を理解します。<br>・登場人物の生き方について、意見を交換します。<br>・行動の観察、ノート、小テスト、定期考査              | B     | — | — | A | B |
| 1<br>学期<br>末  | 随想   | ・「目的」と「行為」という言葉に対する筆者の考え方を理解します。<br>・行動の観察、ノート、小テスト、定期考査                            | B     | — | — | A | B |
|               | 詩歌   | ・詩に読まれた情景の展開を理解します。<br>・詩に込められた作者の思いを理解します。<br>・行動の観察、ノート、小テスト、定期考査                 | B     | A | — | — | B |
| 2<br>学期<br>中間 | 評論2  | ・人間の願望や欲望が進めた近代化の弊害を理解します。<br>・筆者の言う今後の人類の課題について理解します。<br>・行動の観察、ノート、小テスト、定期考査      | B     | A | — | — | B |
| 2<br>学期<br>末  | 小説2  | ・「私」の言動をもとにして、心情を理解します。<br>・小説の構成や情景の展開を理解し、読み味わいます。<br>・行動の観察、ノート、小テスト、定期考査        | B     | — | A | — | B |
|               | 評論3  | ・「ニセガネ」と「預かり手形」の違いを理解します。<br>・現代の経済の仕組みについて調べたことを発表します。<br>・行動の観察、ノート、小テスト、定期考査     | B     | — | — | A | B |
| 学<br>年<br>末   | 評論3  | ・筆者の言う「江戸時代」とは日本人にとってどのようなものであったかを理解します。<br>・行動の観察、ノート、小テスト                         | B     | — | — | A | B |
|               | 言語活動 | ・課題を設定して調べた成果を発表します。<br>・本などの活字になったものやインターネットなどの調査方法及び引用の仕方を理解します。<br>・行動の観察、ノート、資料 | B     | — | A | — | B |

(備考) 1 1、2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査は行わない。  
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

## 平成30年度 シラバス

|     |                      |     |                              |          |           |
|-----|----------------------|-----|------------------------------|----------|-----------|
| 教科  | 地理歴史                 | 科目  | 地理A                          | 学年 学科 類型 | 3年 商業科 I型 |
| 単位数 | 2                    | 教科書 | 高等学校 新地理A（帝国書院）、新詳高等地図（帝国書院） |          |           |
| 副教材 | フォトグラフィア地理図説（東京法令出版） |     |                              |          |           |

|       |   |
|-------|---|
| 学習の目標 | 地理では、現代世界の抱えている諸問題を、身近なところから世界的規模まで空間的な広がりの中からとらえて考察する姿勢を身に付けます。  |
| 学習の方法 | ・地図帳や作業地図などを活用して、自然環境、産業、さまざまな人々の生活・文化、地球的課題などの特徴や分布状況を空間的な広がりの中からとらえていきましょう。自分の知識や体験を通して、普段からさまざまな問題に興味・関心を持ち、解決しようとする前向きな姿勢を大切にしましょう。 |

| 学期            | 単 元                                       | 学習内容とねらい  | 観点別評価 |   |   |   |
|---------------|---|---|-------|---|---|---|
|               |   |   | ①     | ② | ③ | ④ |
| 1<br>学期<br>中間 | 第1部 世界の諸地域の姿と地球的課題<br>1章 地球儀や地図からとらえる現代社会 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地上の現象と地球上の位置、時差、地図の図法、国家の領域と国境、日本の領域と領土問題、交通、通信、貿易について学習します。</li> <li>・ノート、作業プリント、定期考査</li> </ul>                       | B     | A | B | B |
|               | 2章 人間生活を取り巻く環境                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・人々の生活と地形、気候、産業、文化の関連性について学習します。</li> <li>・ノート、作業プリント、定期考査</li> </ul>  | B     | B | - | A |
| 2<br>学期<br>中間 | 3章 世界の諸地域の生活・文化                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・東アジア、東南アジア、南アジア、中央アジア、西アジア、アフリカ、ヨーロッパ、ロシア、アングロアメリカ、ラテンアメリカ、オセアニアなどの生活や文化について学習します。</li> <li>・ノート、作業プリント、定期考査</li> </ul> | B     | B | B | A |
|               | 4章 地球的課題と私たち                              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境問題、資源・エネルギー問題、人口問題、食料問題、都市・居住問題について学習します。</li> <li>・ノート、作業プリント、定期考査</li> </ul>  | B     | A | - | B |
| 3<br>学期       | 第2部 身近な地域の調査<br>1章 身近にあるさまざまな地図           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・身近にあるさまざまな地図、GISやGPSの仕組み、情報を地図化する方法を学習します。</li> <li>・ノート、作業プリント</li> </ul>  | B     | B | A | B |
|               | 2章 日本の自然環境と防災                             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の自然環境、火山災害、地震被害、風水害、防災について学習します。</li> <li>・ノート、作業プリント</li> </ul>  | B     | A | - | B |
|               | 3章 身近な地域の課題と地域調査                          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な地域の課題やその調査方法、調査内容のまとめ方について考えます。</li> <li>・ノート、作業プリント</li> </ul>  | A     | B | B | - |

- (備考) 1 1、2学期の定期考査は、中間・期末に行う。学年末考査は行わない。  
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

## 平成30年度 シラバス

|      |                        |     |                 |          |           |
|------|------------------------|-----|-----------------|----------|-----------|
| 教科   | 数 学                    | 科 目 | 数学探究A           | 学年 学科 類型 | 3年 商業科 I型 |
| 単位数  | 2                      | 教科書 | 数学探究A (学校作成教科書) |          |           |
| 副教材等 | 数学就職問題集 (愛媛県高等学校教育研究会) |     |                 |          |           |

|       |  |
|-------|--|
| 学習の目標 | 数学の基本的な知識の習得と技能の習熟を図り、数学と人間とのかかわりや、社会生活において数学が果たしている役割について理解し、数学に対する興味・関心を高めるとともに、数学を活用していく能力を身に付けます。                      |
| 学習の方法 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ これまでに習った数学に関する基礎・基本的事項を学習します。</li> <li>・ 就職試験に向けて過去問を解き、より実践的な学習を行います。</li> </ul> |

| 学期                    | 単 元               | 学習内容とねらい  | 観点別評価 |   |   |   |
|-----------------------|-------------------|---|-------|---|---|---|
|                       |                   |   | ①     | ② | ③ | ④ |
| 1<br>学<br>期<br>中<br>間 | 第1章<br>比と歩合       | ・ 割合、仕事量、価格計算、食塩水の濃度などの問題について学習します。<br>・ 課題プリント、ノート、小テスト、定期考査 | B     | A | — | B |
|                       | 第2章<br>数と式の計算     | ・ 基本的な四則演算から応用が必要な文章題まで学習します。<br>・ 課題プリント、ノート、小テスト、定期考査       | B     | — | — | A |
| 1<br>学<br>期<br>末      | 第3章<br>1次方程式と1次関数 | ・ 1次方程式を解く問題を中心に学習します。<br>・ 課題プリント、ノート、小テスト、定期考査              | B     | — | — | A |
|                       | 第4章<br>2次方程式と2次関数 | ・ 2次関数のグラフや方程式を立てて解く問題について学習します。<br>・ 課題プリント、ノート、小テスト、定期考査    | B     | — | B | A |
|                       | 第5章<br>不等式        | ・ 不等式を解き、最適な解を導く問題について学習します。<br>・ 課題プリント、ノート、小テスト、定期考査        | B     | — | B | A |
| 2<br>学<br>期<br>中<br>間 | 第6章<br>三角比        | ・ 三角比について復習し、図形に関する問題を学習します。<br>・ 課題プリント、ノート、小テスト、定期考査        | B     | — | A | — |
|                       | 第9章<br>場合の数と確率    | ・ 場合の数と確率について復習し、身の回りにある問題を学習します。<br>・ 課題プリント、ノート、小テスト、定期考査   | B     | — | — | A |
| 2<br>学<br>期<br>末      | 第10章<br>図形        | ・ 図形に関する内容を復習し、問題を解きます。<br>・ 課題プリント、ノート、小テスト、定期考査             | B     | — | A | B |
|                       | 第12章<br>その他の問題    | ・ 数的推理問題などを解きます。<br>・ 課題プリント、ノート、小テスト                         | B     | A | B | — |
| 3<br>学<br>期           | 第13章<br>総合問題      | ・ これまでに学んだ知識を活用して、総合的な問題に挑戦します。<br>・ 課題プリント、ノート、小テスト          | B     | A | B | — |
|                       | 家庭学習              | ・ 自主的・自発的な演習問題を行います。<br>・ 課題プリント、ノート                          |       |   |   |   |

(備考) 1 1、2学期の定期考査は、中間・期末に行う。学年末考査は行わない。  
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

## 平成30年度 シラバス

|      |      |     |                    |          |           |
|------|------|-----|--------------------|----------|-----------|
| 教科   | 保健体育 | 科目  | 体育                 | 学年 学科 類型 | 3年 商業科 I型 |
| 単位数  | 3    | 教科書 | 現代高等保健体育 改訂版 (大修館) |          |           |
| 副教材等 |      |     |                    |          |           |

|       |  |
|-------|--|
| 学習の目標 | <p>1 各種の運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め、運動の楽しさや喜びを味わうことができるようにします。</p> <p>2 明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養い、健康・安全・運動についての課題を主体的に解決する意欲や能力を育てます。</p>   |
| 学習の方法 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・体づくり運動、球技・武道(選択)、ダンス・陸上競技(選択)を通して、自分で課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てます。</li> <li>・体育理論では、座学でスポーツにかかわる生活のあり方について学びます。</li> </ul> |

| 学期      | 単 元                           | 学習内容とねらい  | 観点別評価 |   |   |   |
|---------|-------------------------------|---|-------|---|---|---|
|         |                               |   | ①     | ② | ③ | ④ |
| 1<br>学期 | 体づくり運動                        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・体ほぐし運動を通して体を動かすことの楽しさや心地よさを味わい、心と体が互いに影響し変化することに学びます。</li> <li>・行動観察</li> </ul>   | A     | B | — | B |
|         | 選択1(球技【ソフトボール・バレーボール・テニス】・武道) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・球技では、各選択種目で特有の技能の基礎・基本を習得し、仲間と連携する楽しさを味わい、次の学年で高いレベルのゲームができるようになります。</li> <li>・武道では、相手を尊重するとともに、礼法などの伝統的な行動を大切にし、得意技を用いた攻防が展開できるようにします。</li> <li>・実技テスト</li> </ul>                    | B     | B | A | B |
|         | 体育理論                          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・体力を高める運動を行います。その際、自己のねらいに応じて、健康の保持増進や調和の取れた体力の向上を図るための継続的な運動の計画を立てて取り組むようにします。</li> <li>・行動観察</li> </ul>  | A     | — | — | B |
| 2<br>学期 | 体づくり運動                        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・体力を高める運動を行います。その際、自己のねらいに応じて、健康の保持増進や調和の取れた体力の向上を図るための継続的な運動の計画を立てて取り組むようにします。</li> <li>・行動観察</li> </ul>  | B     | B | A | B |
|         | 選択2(球技【バスケットボール・サッカー・テニス】・武道) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・運動やスポーツを行うことで、大きな達成感や喜びを味わい、心や体を健康にすることを学びます。</li> <li>・小テスト</li> </ul>   | B     | B | — | A |
|         | 体育理論                          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・長距離を走ることにより自分と向き合い努力すること、粘り強く相手と競り合う強い心を養うことを目標にします。また、ペース配分をしたり、ペースの変化に対応するなど主体的に取り組むことができるようになります。</li> <li>・小テスト</li> </ul>  | B     | — | — | A |
| 3<br>学期 | 陸上競技(長距離走)                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・長距離を走ることにより自分と向き合い努力すること、粘り強く相手と競り合う強い心を養うことを目標にします。また、ペース配分をしたり、ペースの変化に対応するなど主体的に取り組むことができるようになります。</li> <li>・記録計測</li> </ul>  | B     | B | A | B |
|         | 選択(球技【バスケットボール・サッカー・テニス】・武道)  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・運動の合理的な動きを理解し、必要な体力をトレーニングによって向上させることで、運動やスポーツを生涯にわたって継続していくための基礎を学びます。</li> <li>・実技テスト</li> <li>・武道では、相手を尊重するとともに、礼法などの伝統的な行動を大切にし、得意技を用いた攻防が展開できるようにします。</li> <li>・実技テスト</li> </ul> | B     | B | — | B |

## 平成30年度 シラバス

|      |    |     |                 |          |           |
|------|----|-----|-----------------|----------|-----------|
| 教科   | 芸術 | 科目  | 音楽Ⅱ             | 学年 学科 類型 | 3年 商業科 I型 |
| 単位数  | 2  | 教科書 | MOUSA 2 (教育芸術社) |          |           |
| 副教材等 |    |     |                 |          |           |

|       |   |
|-------|---|
| 学習の目標 | <p>1 音楽の幅広い活動を通して、音楽を愛好する心情を養い、豊かな感性を身に付け、音楽文化について理解を深めます。</p> <p>2 音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受して歌唱、演奏、創作をします。</p>  |
| 学習の方法 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・歌唱では、曲の背景や歌詞の内容と関わらせて、イメージを持って歌います。</li> <li>・創作では、音階を選んでメロディーを作ります。</li> <li>・鑑賞では、時代背景や作曲家の人生を学びながら楽曲について考えます。</li> </ul> |

| 学期      | 単 元               | 学習内容とねらい   | 観点別評価 |   |   |   |
|---------|-------------------|--|-------|---|---|---|
|         |                   |  | ①     | ② | ③ | ④ |
| 1<br>学期 | 歌唱<br>・ハナミズキ、アレルヤ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・歌詞の内容や楽曲の背景を理解し、イメージを持って歌います。</li> <li>・発音を学びながら諸外国の文化を理解し、表現を工夫して歌います。</li> <li>・練習への取組方、実技テスト</li> </ul> | B     | A | B | - |
|         | 器楽<br>・鍵盤楽器       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・楽器の特徴を理解して基本的奏法を習得します。</li> <li>・楽器の音色や奏法の特徴を生かし、表現を工夫して演奏します。</li> <li>・練習への取組方、実技テスト</li> </ul>          | B     | B | A | - |
|         | 鑑賞<br>・ミュージカル     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・楽曲の文化的・歴史的背景を理解し、表現の特徴を理解して鑑賞します。</li> <li>・鑑賞プリント</li> </ul>  | B     | - | - | A |
| 2<br>学期 | 創作<br>・音階から音楽を作ろう | <ul style="list-style-type: none"> <li>・歌詞を考え、言葉の抑揚に合うメロディーを作ります。</li> <li>・自分のイメージに合う音階を選び、メロディーを作ります。</li> <li>・練習の取組方、ワークシート</li> </ul>         | B     | A | B | - |
|         | 西洋音楽史・楽典          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な時代の音楽や作曲家の特徴と、文化的・歴史的背景との関わりについて学びます。</li> <li>・楽譜の書き方や、読み方について学びます。</li> <li>・ワークシート</li> </ul>        | B     | A | - | - |
| 3<br>学期 | 創作<br>・作った曲を編曲しよう | <ul style="list-style-type: none"> <li>・楽曲のイメージを膨らませ、表現方法を工夫して編曲します。</li> <li>・創作への取組方、ワークシート</li> </ul>   | B     | A | B | - |
|         | 器楽<br>・作った曲を演奏しよう | <ul style="list-style-type: none"> <li>・楽器の音色や奏法の特徴を生かし、表現を工夫して演奏します。</li> <li>・練習への取組方、実技テスト</li> </ul>   | B     | B | A | - |

- (備考) 1 定期考査は、期末に実技試験を行う。  
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

平成30年度 シラバス

|      |    |     |            |          |           |
|------|----|-----|------------|----------|-----------|
| 教科   | 芸術 | 科目  | 美術Ⅱ        | 学年 学科 類型 | 3年 商業科 I型 |
| 単位数  | 2  | 教科書 | 美術2 (光村図書) |          |           |
| 副教材等 |    |     |            |          |           |

|       |   |
|-------|---|
| 学習の目標 | 1 1年の学習に継続し、表現力や想像力を更に伸ばします。<br>2 これまでの知識、技術及び経験像を基に、主体的、個性的な表現を追求します。<br>3 鑑賞活動を通して、他人の考えを尊重し自分の考えを適切に表現します。 |
| 学習の方法 | ・すべての表現活動において、主にアクリル絵の具を使用します。<br>・1年の学習を踏まえてより高度な美術作品の制作や学習を行っていきます。   |

| 学期      | 単 元                       | 学習内容とねらい   | 観点別評価 |   |   |   |
|---------|---------------------------|--|-------|---|---|---|
|         |                           |  | ①     | ② | ③ | ④ |
| 1<br>学期 | 1 絵画表現 うつろう自然を描く(金屏風の制作)  | <ul style="list-style-type: none"> <li>金屏風の制作を通して、日本美術や日本の伝統文化についての理解を深めると共に、日本独特の絵画様式について学びます。</li> <li>金屏風の校正の難しさや、立体的に絵を表現する面白さを味わいます。</li> <li>国宝の屏風絵などの鑑賞を通して、日本美術の歴史を学びます。</li> <li>アイデアスケッチ、作品、感想文</li> </ul> | B     | A | B | B |
|         | 2 絵画表現 見えるものの向こうに(植物の細密画) | <ul style="list-style-type: none"> <li>植物の細密画を通して、身近にあるものを深く観察することで、対象が持つさまざまなかたちを探り、自然の造形の面白さを味わいます。</li> <li>緻密な表現を通して写実表現の技法を学びます。</li> <li>作品・感想文</li> </ul>   | B     | B | A | B |
| 2<br>学期 | 3 作家の生涯と作品                | <ul style="list-style-type: none"> <li>アルヴァ・アアルトの生涯と作品を通して、建築への考え方やデザインの工夫を学びます。</li> <li>線遠近法、透視図法で自分が理想とする部屋を設計し、形になる面白さを味わいます。</li> <li>アイデアスケッチ、作品、感想文</li> </ul>  | B     | A | B | B |
|         | 4 デザイン 問題を解決するデザイン        | <ul style="list-style-type: none"> <li>ユニバーサルデザインの視点でトイレットペーパーホルダーのデザインを考えます。</li> <li>共同でアイデアを出し合ったり、まとめたりすることで、すべての人が使いやすいデザインについて考えます。</li> <li>アイデアスケッチ、作品、感想文</li> </ul>  | B     | A | B | B |
| 3<br>学期 | 5 心の記録、想像の源(抽象表現)         | <ul style="list-style-type: none"> <li>抽象表現作品制作を通して、具象作品との違いや鑑賞の仕方を学び、よさを味わいます。</li> <li>偶然できた色や形から着想する描画法など、様々な技法を学びます。</li> <li>作品、感想文</li> </ul>  | B     | B | A | B |

(備考) ・美術教室の道具類は美術選択者全員が使用します。丁寧に扱い、実習終了後の整理整頓を心掛けてください。

## 平成30年度 シラバス

|     |    |     |          |          |           |
|-----|----|-----|----------|----------|-----------|
| 教科  | 芸術 | 科目  | 書道Ⅱ      | 学年・学科・類型 | 3年 商業科 I型 |
| 単位数 | 2  | 教科書 | 書Ⅱ（教育図書） |          |           |
| 副教材 |    |     |          |          |           |

|       |  |
|-------|--|
| 学習の目標 | 1 様々な書体を勉強し、古典の美に触れ、感性を磨きます。<br>2 古典を臨書し、様々な書体を書くための技術を身に付けます。<br>3 日常生活に即した、整った字の書き方を学びます。  |
| 学習の方法 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・古典の臨書を通して、観察力や技術を学び、集中力を養います。</li> <li>・書の歴史を学び、作品への理解を深めます。</li> <li>・古典で学習した内容を、創作活動に活用します。</li> </ul> |

| 学期      | 単元       | 学習内容とねらい  | 観点別評価 |   |   |   |
|---------|----------|---|-------|---|---|---|
|         |          |   | ①     | ② | ③ | ④ |
| 1<br>学期 | 1 楷書     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・1年で学習したことの復習をします。</li> <li>・日本で独自に発展した書の文化を鑑賞しながら、臨書します。</li> <li>・臨書への取り組み、作品</li> </ul>       | B     | A | — | B |
|         | 2 行書     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・書Ⅰでの学習を基に、作品への理解をより深めていきます。</li> <li>・いろいろな古典作品を鑑賞しながら、臨書します。</li> <li>・臨書への取り組み、作品</li> </ul>  | B     | A | — | B |
| 2<br>学期 | 3 草書     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・字の崩し方の原理を学習し、流動する用筆美を味わいます。</li> <li>・古典作品のそれぞれの特徴をとらえて、臨書します。</li> <li>・臨書への取り組み、作品</li> </ul> | B     | A | — | B |
|         | 4 隸書     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・書体の特徴を理解し、字形や用筆法を学習します。</li> <li>・古典作品のそれぞれの特徴をとらえて、臨書します。</li> <li>・臨書への取り組み、作品</li> </ul>     | B     | A | — | B |
|         | 5 篆書     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・書体の特徴を理解し、字形や用筆法を学習します。</li> <li>・臨書への取り組み、作品</li> </ul>  | B     | A | — | B |
| 3<br>学期 | 6 仮名     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・古典の特徴を捉えて、流動する仮名独特の用筆美を学びます。</li> <li>・臨書への取り組み、作品</li> </ul>                                   | B     | A | — | B |
|         | 7 創作（漢字） | <ul style="list-style-type: none"> <li>・今までに学習した臨書作品を元に、創作をします。</li> <li>・応用力、作品</li> </ul>   | B     | — | A | B |

（備考）書道の道具類は、丁寧に扱い、後片付けもしっかり行ってください。

## 平成30年度 シラバス

|      |     |     |  |          |           |
|------|-----|-----|--|----------|-----------|
| 教科   | 外国語 | 科目  | コミュニケーション英語Ⅱ                               | 学年 学科 類型 | 3年 商業科 I型 |
| 単位数  | 3   | 教科書 | BIG DIPPER English Communication II (数研出版) |          |           |
| 副教材等 |     |     |  |          |           |

|       |  |
|-------|--|
| 学習の目標 | 1 英語を通して、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養います。<br>2 英語を通して、多様なものの見方や考え方を理解し、自国のこと、諸外国のことを知り、広い視野から国際理解を深めます。<br>3 全商英語検定取得を目標とします。 |
| 学習の方法 | ・2年次で学んだ内容を踏まえながら、「読む」「書く」「聞く」「話す」の4技能を使って、英語で情報を正確に受け、自分の考えをまとめることを主眼に置きます。積極的に授業に参加できるように、予習と復習を行ってください。                               |

| 学期            | 単 元   | 学習内容とねらい   | 観点別評価 |   |   |   |
|---------------|---|--|-------|---|---|---|
|               |   |  | ①     | ② | ③ | ④ |
| 1<br>学期<br>中間 | Lesson 5<br>Ueno Takahiro                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・世界的に活躍するダンサーである上野隆博さんの挫折や挑戦について知り、諦めずに夢を追いかけることの大切さについて理解します。</li> <li>・SVOC(C=過去分詞)、仮定法過去完了、分詞構文の用法を学びます。</li> <li>・定期考査、小テスト、課題プリント</li> </ul>                     | B     | B | A | B |
| 1<br>学期<br>末  | Lesson 7<br>The Whimsical Robot                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・星新一さんの「きまぐれロボット」を英語で読み内容を理解するとともに、ストーリー展開を予測したり推測したりする方法を学びます。</li> <li>・仮定法 (as if+仮定法、If S were to～) の用法について学びます。</li> <li>・定期考査、小テスト、課題プリント</li> </ul>            | B     | B | A | B |
| 2<br>学期<br>中間 | Lesson 9<br>A Bridge to the Future for Orangutans | <ul style="list-style-type: none"> <li>・絶滅の危機に瀕する動物たちのために、私たちにできることは何かについて理解します。</li> <li>・used to、同格を表すof / thatの用法について学びます。</li> <li>・定期考査、小テスト、課題プリント</li> </ul>  | B     | A | B | B |
| 2<br>学期<br>末  | Lesson 10<br>Floating Education                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・バングラディッシュで大洪水が起きた後、人々がどのように逆境を乗り越えたかを知るとともに、教育の大切さについても理解します。</li> <li>・未来完了、無生物主語の用法について学びます。</li> <li>・定期考査、小テスト、課題プリント</li> </ul>                                 | B     | A | B | B |
| 3<br>学期       | READING<br>Annemarie's Basket                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・第二次世界大戦中のナチス占領下のデンマークで、ユダヤ人一家の脱出を手助けするアンマリーとその家族、人種差別の残酷さ、戦争の悲惨さを読み取ります。</li> <li>・in time for, without fail, as 原級 as A can などの表現を学びます。</li> <li>・課題プリント</li> </ul> | B     | A | B | B |

- (備考) 1 1、2学期の定期考査は、中間・期末に行う。学年末考査は行わない。  
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。



## 平成30年度 シラバス

|      |                                     |     |                          |          |           |
|------|-------------------------------------|-----|--------------------------|----------|-----------|
| 教科   | 家庭                                  | 科目  | 家庭総合                     | 学年 学科 類型 | 3年 商業科 I型 |
| 単位数  | 2                                   | 教科書 | 新家庭総合 主体的に人生をつくる (大修館書店) |          |           |
| 副教材等 | 平成29年度家庭科ノート・調理ノート基礎編 (愛媛県家庭科教育研究会) |     |                          |          |           |

|       |   |
|-------|---|
| 学習の目標 | <p>1 よりよい生活を創る(食生活分野)、生命を育てる、消費生活について学び、人生を主体的に切り開く力を身に付けます。</p> <p>2 生活の中で生じる課題を主体的に解決する実践的態度を養います。</p>                                  |
| 学習の方法 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活に関する知識や技術を実験や実習を通して、実践的かつ総合的に学びます。</li> <li>・生活者としての自立をめざし、よりよい生活を創造する能力と実践力を身に付けます。</li> </ul> |

| 学期            | 単 元                    | 学習内容とねらい  | 観点別評価 |   |   |   |
|---------------|------------------------|---|-------|---|---|---|
|               |                        |   | ①     | ② | ③ | ④ |
| 1<br>学期<br>中間 | 第7章 生涯の健康を見直した食生活をつくろう | <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の風土から生まれた日本食の基本や日本の食文化について学習します。</li> <li>・課題プリント、定期考査、調理実習、ノート</li> </ul>          | B     | B | A | B |
|               | 2 栄養と食品                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康な生活を送るうえで必要な栄養素とそのおもな働きについて学習します。</li> <li>・課題レポート、定期考査、調理実習、ノート</li> </ul>         | B     | B | A | B |
| 1<br>学期<br>末  | 3 安全で環境に配慮した食生活        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・食品の品質表示を読み取り、身体状況に応じた食品を選択できるよう学びます。</li> <li>・課題レポート、定期考査、調理実習、ノート</li> </ul>        | B     | B | A | B |
|               | 5 健康につながる食事計画          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・個々の1日に必要なエネルギー量を計算し、自分に必要な摂取エネルギーに合った献立を立てます。</li> <li>・献立作成、調理実習、ノート、定期考査</li> </ul> | B     | A | B | B |
| 2<br>学期<br>中間 | 第3章 子どもと子育てについて知ろう     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・乳幼児期は一生を通じての人間の発達の基礎をつくる最も重要な時期であることを学びます。</li> <li>・課題プリント、定期考査、ノート</li> </ul>       | A     | B | B | B |
|               | 2 子どもの成長・発達            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・からだの発育、発達には個人差があるが、一定の法則があることを学びます。</li> <li>・課題プリント、定期考査、ノート</li> </ul>              | A     | B | B | B |
| 2<br>学期<br>末  | 3 子どもの生活と保育            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの欲求不満には、親との適切な対応が重要であることを学びます。</li> <li>・課題プリント、定期考査、ノート、保育園訪問</li> </ul>          | B     | B | A | B |
|               | 4 子育てと子どもが育つ環境         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て支援について考え、地域や社会が果たす役割について学びます。</li> <li>・課題プリント、定期考査、ノート、保育園訪問</li> </ul>           | B     | B | B | A |
| 3<br>学期       | 第11章 生活をデザインしよう        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分らしく生きるために、自分の価値観にもとづいて、生活設計を立てることの必要性を学びます。</li> <li>・課題プリント、ノート、調理実習</li> </ul>    | A     | B | B | B |
|               | 生活設計とは                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人の生活設計と家族の生活設計を関連させ、将来の設計をする必要性を学びます。</li> <li>・課題プリント、ノート</li> </ul>                | B     | A | B | B |

(備考) 1 1、2学期の定期考査は、期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。

## 平成30年度 シラバス

|      |     |     |      |          |           |  |
|------|-----|-----|------|----------|-----------|--|
| 教科   | 商 業 | 科 目 | 課題研究 | 学年 学科 類型 | 3年 商業科 I型 |  |
| 単位数  | 3   | 教科書 |      |          |           |  |
| 副教材等 |     |     |      |          |           |  |

|       |  |
|-------|--|
| 学習の目標 | 1 自らの課題の設定、学習計画の立案・研究を行い、実践することにより、計画力、実践力、問題解決能力を身に付けます。<br>2 日商記検定2級の合格を目標に、自主的・計画的に学習を進めます。 |
| 学習の方法 | ・日商簿記検定2級の取得を目指し、講義をもとに、基本的な内容から応用的な内容まで幅広く学習を進め、多くの問題を解きながら理解力を深めていきます。                       |

| 学期            | 単 元            | 学習内容とねらい  | 観点別評価 |   |   |   |
|---------------|----------------|---|-------|---|---|---|
|               |                |   | ①     | ② | ③ | ④ |
| 1<br>学期<br>中間 | 商業簿記<br>重要仕訳問題 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・2年次までに学習した簿記・会計の知識をもとに、日商簿記検定で必要とされる力の定着を図ります。また、苦手部分の克服に力を入れ、得点力向上につなげていきます。</li> <li>・行動の観察、小テスト、練習プリント、問題集</li> </ul>                        | B     | B | A | B |
| 1<br>学期<br>末  | 商業簿記<br>個別論点問題 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・固定資産、有価証券、商品売買、預金調整、株主資本などの個別的論点について重点的に学習を進め、より理解を深め、応用的な出題に対応できる力を身に付けていきます。</li> <li>・行動の観察、小テスト、練習プリント、問題集</li> </ul>                       | B     | B | A | B |
| 2<br>学期<br>中間 | 商業簿記<br>決算問題   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・精算表の作成、貸借対照表の作成、損益計算書の作成が正確にできる力を身に付けます。そのためには、簿記の一連の流れを正確に理解した総合的な力を身に付けます。</li> <li>・行動の観察、小テスト、練習プリント、問題集</li> </ul>                         | B     | A | B | B |
| 2<br>学期<br>末  | 工業簿記 演習        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・個別原価計算、総合原価計算、標準原価計算、直接原価計算、本社・工場の取引、製造原価報告書などについて、2年次の原価計算の学習を基礎として、演習を繰り返すことによって、検定に対応できる力を身に付けます。</li> <li>・行動の観察、小テスト、練習プリント、問題集</li> </ul> | B     | A | — | B |
| 3<br>学期       | 模擬問題・過去問題      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・検定試験の直前準備として、問題演習を繰り返し、検定試験に備えます。</li> <li>・行動の観察、模擬問題演習、過去問題演習</li> </ul>  | B     | A | B | B |

(備考) 1、2、3学期とも定期考査は実施しない。

## 平成30年度 シラバス

|      |                       |     |      |          |           |  |
|------|-----------------------|-----|------|----------|-----------|--|
| 教科   | 商業                    | 科目  | 課題研究 | 学年 学科 類型 | 3年 商業科 I型 |  |
| 単位数  | 3                     | 教科書 |      |          |           |  |
| 副教材等 | 秘書検定 2級実問題集 (早稲田教育出版) |     |      |          |           |  |

|       |  |
|-------|--|
| 学習の目標 | <p>1 ビジネスに関する課題を設定し、その課題の解決を図る学習を通して、専門的な知識と技術の深化、総合化を図るとともに、問題解決の能力や自発的・創造的な学習態度を身に付ける。</p> <p>2 秘書検定およびリテールマーケティング検定の合格を目指して主体的に学習に取り組み、知識や技能、接遇マナーなどを身に付けます。</p>  |
| 学習の方法 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・通常の講義形式ではなく、自らが主体となって学習に取り組み、課題を見つけ、自発的に解決していきながら学習します。</li> <li>・ビジネスに関する知識や技能を基礎的な内容から応用的な内容へと段階的に学習し、秘書検定2級、リテールマーケティング検定3級の合格に挑戦します。</li> <li>・練習問題を数多く解き、理論や実技の知識を身に付け、また実社会を創造したり、実践して理解を深めていきます。</li> </ul> |

| 学期            | 単 元                 | 学習内容とねらい   | 観点別評価 |   |   |   |
|---------------|---------------------|--|-------|---|---|---|
|               |                     |  | ①     | ② | ③ | ④ |
| 1<br>学期<br>中間 | 1 ガイダンス・年間計画        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習の目標や内容、取組姿勢など正しく理解し、問題解決の能力や自発的・創造的な学習態度を身に付けます。</li> <li>・行動観察、実習日誌</li> </ul>  | A     | B | — | — |
|               | 2 秘書検定基礎演習          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・秘書の資質、職務知識・一般知識、マナー・接遇、技能について学習し、職務の知識や技術の習得とともに、秘書検定試験合格を目指して主体的に学習します。</li> <li>・行動の観察、実習日誌、実習の進捗、小テスト、検定試験</li> </ul>   | B     | B | — | A |
| 2<br>学期<br>中間 | 3 調査・研究演習           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎演習で得た知識や技術をもとにして、自らの研究テーマと研究計画を設定し、ビジネスに関する現状や課題を調査・研究して報告書の作成や発表準備を行います。</li> <li>・行動観察、実習日誌、実習の進捗、レポート、プレゼンテーション</li> </ul>  | B     | A | B | — |
| 2<br>学期<br>末  | 4 リテールマーケティング検定基礎演習 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・小売業の種類、マーチャンダイジング、ストアオペレーション、マーケティング、販売経営管理について学習し、販売技術や消費者動向を読み取る能力などビジネスに必要な知識や能力を身に付けるとともに、リテールマーケティング検定試験合格を目指して主体的に学習します。</li> <li>・行動の観察、実習日誌、実習の進捗、小テスト、検定試験</li> </ul> | B     | B | — | A |
| 3<br>学期       | 5 成果報告およびまとめ        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究成果を発表することにより、思考力や表現力、プレゼンテーション能力を養い、他の研究報告からビジネスに関する知識や技術を深めていきます。</li> <li>・行動の観察、実習日誌、課題プリント、発表、プレゼンテーション</li> </ul>   | B     | A | — | B |

(備考) 1 1、2、3学期とも定期考査は実施しない。

## 平成30年度 シラバス

|      |     |     |      |          |           |  |
|------|-----|-----|------|----------|-----------|--|
| 教科   | 商 業 | 科 目 | 課題研究 | 学年 学科 類型 | 3年 商業科 I型 |  |
| 単位数  | 3   | 教科書 |      |          |           |  |
| 副教材等 |     |     |      |          |           |  |

|       |  |
|-------|--|
| 学習の目標 | <p>1 地元「宇和島市」の文化や歴史、観光などについて、各班別にテーマを設定して調査・研究を行ったり、各種イベントへの参加、各種コンテストへの応募をとして地域に貢献できる活動を行う。</p> <p>2 問題を解決しようとする意欲を高め、自信を持って社会生活を営めるように「生きる力」を養います。</p>                               |
| 学習の方法 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・扱う問題毎にテーマを設定して、問題の種類ごとに調査・研究を進めます。</li> <li>・マルチメディアを利用して、表計算ソフト、文書作成ソフト、プレゼンテーションソフトを使った資料作成や、インターネットを利用して、大学や企業のビジネス手法の調査研究を行います。</li> </ul> |

| 学期            | 単 元              | 学習内容とねらい   | 観点別評価 |   |   |   |
|---------------|------------------|--|-------|---|---|---|
|               |                  |  | ①     | ② | ③ | ④ |
| 1<br>学期<br>中間 | 1 宇和島市についての調査研究Ⅰ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・宇和島地域の歴史・文化・観光について、各班で課題を設定して、調査研究を行います。</li> <li>・地域経済分析システム（RESAS）を活用した施策の立案・実行・検証を行う。</li> <li>・行動の観察、実習日誌、研究成果プリント</li> </ul>        | A     | B | — | B |
| 1<br>学期<br>末  | 2 宇和島市についての調査研究Ⅱ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・実地調査や企業訪問の実施を行うことで、地域の課題を追求していきます。</li> <li>・行動の観察、実習日誌、作品制作、発表</li> </ul>   | B     | — | A | B |
| 2<br>学期<br>中間 | 3 宇和島市についての調査研究Ⅲ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種コンテストへの応募を行います。</li> <li>・行動の観察、実習日誌、作品制作</li> </ul>   | B     | B | A | B |
| 2<br>学期<br>末  | 4 宇和島市についての調査研究Ⅳ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・商店街での模擬店・地域活性化への取り組みにより、地域とのコミュニティを形成していきます。</li> <li>・行動の観察、実習日誌、観光案内実践</li> <li>・エコノミクス甲子園に向けた、金融教育の学習を行います。財政的視点での分析も行います。</li> </ul> | A     | B | — | B |
| 3<br>学期       | 5 宇和島市についての調査研究Ⅴ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・1・2学期に実践した内容をまとめ、成果報告会の原稿を作成し、報告会を実施することで、宇和島地域の良さを再確認します。</li> <li>・行動の観察、実習日誌、作品制作、発表</li> </ul>                                       | A     | B | — | B |

- (備考) 1 学期ごとの定期考査は実施しませんが、調査・研究した内容について発表会を行います。  
 2 評価は、調査・研究への取組態度や発表内容を総合的に判断して行います。

## 平成30年度 シラバス

|      |     |     |      |          |           |
|------|-----|-----|------|----------|-----------|
| 教科   | 商 業 | 科 目 | 課題研究 | 学年 学科 類型 | 3年 商業科 I型 |
| 単位数  | 3   | 教科書 |      |          |           |
| 副教材等 |     |     |      |          |           |

|       |   |
|-------|---|
| 学習の目標 | <ol style="list-style-type: none"> <li>1 コンピュータシステムやナット枠に関する知識を学習します。</li> <li>2 担当業務を理解するために、企業活動や関連業務の知識を学習します。</li> <li>3 安全に情報を活用するための法律や規定について学習し、各種規定に従って活動します。</li> <li>4 業務の分析やシステム化の支援を行うための知識を学習します。</li> </ol> |
| 学習の方法 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・扱う問題毎に知識を深めるために学習します。</li> <li>・過去問題を活用し、自ら課題を探し出し問題に取り組んでいきます。</li> </ul>  |

| 学期            | 単 元       | 学習内容とねらい   | 観点別評価 |   |   |   |
|---------------|-----------|--|-------|---|---|---|
|               |           |  | ①     | ② | ③ | ④ |
| 1<br>学期<br>中間 | 1 ストラテジ系  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業活動や経営管理に関する基本的な考え方を学習します。</li> <li>・知的財産権にはどのような種類があり、何が法律で守られ、どのような行為が違法に当たるのかを理解する。</li> <li>・身近な労働関連法規の概要を理解する。</li> <li>・オフィスツール（ソフトウェアパッケージ）を身近な業務に適用する。</li> <li>・行動の観察、小テスト、発表、毎時の記録表、研究成果プリント</li> </ul>                             | A     | B | B | B |
| 1<br>学期<br>末  | 2 マネジメント系 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・システム開発のプロセスの基本的な流れを理解する。</li> <li>・プロジェクトマネジメントのプロセスの基本的な流れを理解する。</li> <li>・ITサービスマネジメントの意義、目的、考え方を理解する。</li> <li>・企業などにおける内部統制、ITガバナンスの目的、考え方を理解する。</li> <li>・行動の観察、小テスト、発表、毎時の記録表、研究成果プリント</li> </ul>  | A     | B | B | B |
| 2<br>学期<br>中間 | 3 テクノロジ系  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・基数の基本的な考え方を理解する。</li> <li>・確立と統計の基本的な考え方を理解する。</li> <li>・情報のデジタル化の基本的な考え方を理解する。</li> <li>・アルゴリズムと流れ図の基本的な考え方と表現方法を理解する。</li> <li>・プログラム言語とプログラミングの役割を理解する。</li> <li>・コンピュータの基本的な構成と役割を理解する。</li> <li>・行動の観察、小テスト、発表、毎時の記録表、研究成果プリント</li> </ul> | A     | B | B | B |
| 2<br>学期<br>末  | 3 テクノロジ系  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・オペレーティングシステムの必要性、機能性、種類を理解する。</li> <li>・ファイル管理の考え方を理解し、基本的な機能を利用する。</li> <li>・コンピュータの種類と特徴を理解する。</li> <li>・ヒューマンインタフェースの特徴を理解する。</li> <li>・マルチメディア技術の応用目的や特徴を理解する。</li> <li>・行動の観察、小テスト、発表、毎時の記録表、研究成果プリント</li> </ul>                          | A     | B | B | B |
| 3<br>学期       | 4 総合問題    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・過去の問題を活用し、問題を解いていきます。</li> <li>・行動の観察、小テスト、発表、毎時の記録表、研究成果プリント</li> </ul>   | A     | B | B | B |

(備考) 1 学期ごとの定期考査は実施しませんが、調査・研究した内容について発表会を行います。  
 2 評価は、調査・研究への取組態度や発表内容を総合的に判断して行います。

## 平成30年度 シラバス

|      |     |     |      |             |               |  |
|------|-----|-----|------|-------------|---------------|--|
| 教科   | 商 業 | 科 目 | 課題研究 | 学 年 学 科 類 型 | 3 年 商 業 科 I 型 |  |
| 単位数  | 3   | 教科書 |      |             |               |  |
| 副教材等 |     |     |      |             |               |  |

|       |  |
|-------|--|
| 学習の目標 | <p>1 マルチメディアを活用してビジネス情報を創造的に表現し、わかりやすく、説得力のある文書を作成するための知識と技術を身に付けます。</p> <p>2 ソフトウェアを活用したプレゼンテーションなどにより、ビジネスにおける総合的な情報発信力を身に付けます。</p>  |
| 学習の方法 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・通常の講義形式ではなく、自らが主体となって学習に取り組み、課題を見つけ、自発的に解決していきながら学習します。</li> <li>・マルチメディアに関する知識や技能を基礎的な内容から応用的な内容へと段階的に学習し、ポスターのデザインや動画編集の作品を作成します。</li> </ul> |

| 学 期                   | 単 元          | 学習内容とねらい   | 観点別評価 |   |   |   |
|-----------------------|--------------|--|-------|---|---|---|
|                       |              |  | ①     | ② | ③ | ④ |
| 1<br>学<br>期<br>中<br>間 | 1 ガイダンス・年間計画 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習の目標や内容、取組姿勢など正しく理解し、問題解決の能力や自発的・創造的な学習態度を身に付けます。</li> <li>・行動観察、実習日誌</li> </ul>  | A     | B | — | — |
| 1<br>学<br>期<br>末      | 2 図形情報の作成と編集 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・コンピュータグラフィックス・ソフトウェアに関する基礎的・基本的な操作方法を習得するとともに、視覚的なビジネス文書を作成するための技法を主体的に学習します。</li> <li>・行動の観察、実習日誌、実習の進捗、作品製作</li> </ul> | B     | B | — | A |
| 2<br>学<br>期<br>中<br>間 | 3 マルチメディアの利用 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・動画像データのおもな種類や特徴について理解するとともに動画像データの取得方法やこれを活用するための技法を主体的に学習します。</li> <li>・行動観察、実習日誌、実習の進捗、作品製作</li> </ul>                 | B     | A | B | — |
| 2<br>学<br>期<br>末      | 4 プレゼンテーション  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・プレゼンテーションソフトウェアを活用した実習を通して、発表用の資料の整理や作成方法などの準備から発表までのプレゼンテーション技法を主体的に学習します。</li> <li>・行動の観察、実習日誌、実習の進捗、作品製作</li> </ul>   | B     | B | — | A |
| 3<br>学<br>期           | 5 成果報告およびまとめ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究成果を発表することにより、思考力や表現力、プレゼンテーション能力を養い、他の研究報告からビジネスに関する知識や技術を深めていきます。</li> <li>・行動の観察、実習日誌、課題プリント、発表、プレゼンテーション</li> </ul> | B     | A | — | B |

(備考) 1、2、3学期とも定期考査は実施しない。

## 平成30年度 シラバス

|      |     |     |      |          |           |  |
|------|-----|-----|------|----------|-----------|--|
| 教科   | 商 業 | 科 目 | 課題研究 | 学年 学科 類型 | 3年 商業科 I型 |  |
| 単位数  | 3   | 教科書 |      |          |           |  |
| 副教材等 |     |     |      |          |           |  |

|       |   |
|-------|---|
| 学習の目標 | <p>1 商業科目で身に付けた簿記・ワープロ・エクセルなどの知識をもとに、地域の方々を対象とした講座を開設し、地域との関わりを深め、コミュニケーション能力を身に付けます。</p> <p>2 教えるという立場から受講者の課題を理解し、解決する手段を自ら思考・判断・表現し、他者と協働しながら解決していく力を身に付けます。</p> |
| 学習の方法 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自らが主体となって、受講者に満足してもらえる講座の運営方法について考えていきます。</li> <li>・マルチメディアを活用し、効果的なテキストの作成や、マスコミ媒体を活用した周知活動を行います。</li> </ul>               |

| 学期            | 単 元      | 学習内容とねらい  | 観点別評価 |   |   |   |
|---------------|----------|---|-------|---|---|---|
|               |          |   | ①     | ② | ③ | ④ |
| 1<br>学期<br>中間 | 1 市場調査   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の方々がどのような知識を身に付けたいと思っているか調査し、講座内容等の決定を行います。</li> <li>・行動の観察、実習日誌</li> </ul>                         | A     | B | — | B |
|               | 2 講座開設準備 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・講座内容に基づき、参加者募集・テキスト作成・進行方法を決定し、講座開設準備を行います。</li> <li>・行動の観察、実習日誌、作成テキスト</li> </ul>                    | A     | B | B | B |
| 1<br>学期<br>末  | 3 講座開設   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域開放講座を実施します。</li> <li>・行動の観察、実習日誌、作成テキスト、参加者アンケート</li> </ul>   | B     | A | B | B |
|               | 4 振り返り   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施を振り返り、アンケートを集計し、課題を明確にし、次回の開催内容について検討します。</li> <li>・行動の観察、実習日誌、振り返りシート、相互評価</li> </ul>              | A     | B | — | B |
| 2<br>学期<br>中間 | 5 講座開設準備 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・講座内容に基づき、参加者募集・テキスト作成・進行方法を決定し、講座開設準備を行います。</li> <li>・行動の観察、実習日誌、作成テキスト</li> </ul>                    | A     | B | B | B |
| 2<br>学期<br>末  | 6 講座開設   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域開放講座を実施します。</li> <li>・行動の観察、実習日誌、作成テキスト、参加者アンケート</li> </ul>   | B     | A | B | B |
|               | 7 振り返り   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施を振り返り、アンケートを集計し、課題を明確にし、次回の開催内容について検討します。</li> <li>・行動の観察、実習日誌、振り返りシート、相互評価</li> </ul>              | A     | B | — | B |
| 3<br>学期       | 8 講座開設   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域開放講座を実施します。</li> <li>・行動の観察、実習日誌、作成テキスト、参加者アンケート</li> </ul>   | B     | A | B | B |
|               | 9 振り返り   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施を振り返り、アンケートを集計し、課題を明確にし、次回の開催内容について検討します。</li> <li>・行動の観察、実習日誌、振り返りシート、相互評価</li> </ul>              | A     | B | — | B |
|               | 10 総まとめ  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・1・2・3学期に実践した内容をまとめ、成果報告会の原稿を作成し、報告会を実施することで、課題研究を通じた学びを確認します。</li> <li>・行動の観察、実習日誌、作品制作、発表</li> </ul> | A     | B | B | B |

(備考) 1、2、3学期とも定期考査は実施しない。

## 平成30年度 シラバス

|      |    |     |                                    |          |           |
|------|----|-----|------------------------------------|----------|-----------|
| 教科   | 商業 | 科目  | 総合実践                               | 学年 学科 類型 | 3年 商業科 I型 |
| 単位数  | 3  | 教科書 | 平成30年度総合実践の手引き(宇和島東高等学校総合実践研究委員会編) |          |           |
| 副教材等 |    |     |                                    |          |           |

|       |  |
|-------|--|
| 学習の目標 | <p>1 商業の各分野に関する知識と技術を実践的な活動を通して総合的に習得し、ビジネスの諸活動を主体的・合理的に行う態度を身に付けます。</p> <p>2 知識や技術の体得のみならず、ビジネスマナーや職務に対する責任感・自主性・協調性・計画性などの資質を身に付けるとともに、職業人としての望ましい勤労観や職業観を養います。</p>          |
| 学習の方法 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・前半は同時同業法により、一人で1店舗を担当し、模擬取引演習（販売促進、売買取引、会計処理など）を行います。</li> <li>・後半は三人で1店舗を担当し、自由取引による模擬取引演習やMESEを用いた経営管理と経済シミュレーション演習を行います。</li> </ul> |

| 学期            | 単 元   | 学習内容とねらい   | 観点別評価 |   |   |   |
|---------------|---|--|-------|---|---|---|
|               |   |  | ①     | ② | ③ | ④ |
| 1<br>学期<br>中間 | 第1章 総合実践の学習<br>第2章 ビジネスマナー<br>第3章 ビジネス文書の作成 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合実践における学習の目標や心得などを正しく理解するとともに、望ましい勤労観や基本的なビジネスマナーなどについて学習します。</li> <li>・行動観察、営業日誌、実習の手引き</li> </ul>                 | A     | B | - | - |
|               | 第4章 伝票会計記帳練習                                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・一連の売買取引において5伝票制を用いて、起票・集計・転記など伝票会計の基礎的・基本的な知識と技術を学習します。</li> <li>・帳票類、実習の手引、行動観察</li> </ul>                          | B     | - | A | B |
| 1<br>学期<br>末  | 第5章 模擬取引（基本編）                               | <ul style="list-style-type: none"> <li>・関係する機関との手続や作成する書式の内容や役割を理解し、個々の業務が、企業経営全体にどのように結びついているかを考えながら学習します。</li> <li>・帳票及び書式、実習の手引、行動観察、営業日誌、定期考査</li> </ul> | B     | - | A | B |
| 2<br>学期<br>中間 | 第5章 模擬取引（基本編）                               | <ul style="list-style-type: none"> <li>・関係する機関との手続や作成する書式の内容や役割を理解し、個々の業務が、企業経営全体にどのように結びついているかを考えながら学習します。</li> <li>・帳票及び書式、実習の手引、行動観察、営業日誌、定期考査</li> </ul> | B     | - | A | B |
|               | 第6章 経営管理と経済のシミュレーション演習（MESE）                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業経営を通じて、自律的判断力（考える力）、意思決定力、寛容性、コスト意識など、社会生活に必要な基本的資質を養います。</li> <li>・実習の手引、行動観察、営業日誌</li> </ul>                     | B     | A | - | - |
| 2<br>学期<br>末  | 第7章 模擬取引（実践編－自由取引－）                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自ら考え、実行し、自らの力で問題の解決を図りながら、ビジネスの諸活動を合理的・能率的に処理する能力と態度を養います。</li> <li>・帳票及び書式、実習の手引、行動観察、営業日誌、定期考査</li> </ul>          | B     | B | A | B |
| 3<br>学期       | 第7章 模擬取引（実践編－自由取引－）                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自ら考え、実行し、自らの力で問題の解決を図りながら、ビジネスの諸活動を合理的・能率的に処理する能力と態度を養います。</li> <li>・帳票及び書式、実習の手引、行動観察、営業日誌</li> </ul>               | B     | B | A | B |
|               | 第8章 期末業務（決算）                                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・財務諸表の作成手順や方法を正しく理解するとともに、計数を分析して、経営活動を正しく点検・評価する知識と態度を養います。</li> <li>・帳票類、実習の手引、行動観察、営業日誌</li> </ul>                 | B     | B | A | B |

(備考) 1、2学期の定期考査は、期末に行う。3学期は、学年末考査を実施しない。



## 平成30年度 シラバス

|      |                    |     |                 |          |           |
|------|--------------------|-----|-----------------|----------|-----------|
| 教科   | 商 業                | 科 目 | ビジネス経済応用        | 学年 学科 類型 | 3年 商業科 I型 |
| 単位数  | 3                  | 教科書 | ビジネス経済応用 (実教出版) |          |           |
| 副教材等 | ビジネス経済応用問題集 (実教出版) |     |                 |          |           |

|       |  |
|-------|--|
| 学習の目標 | 1 企業の経営、経済活動に関する基礎的・基本的な知識を学びます。<br>2 国際社会の一員としての心構えについて学び、国際的なビジネスの諸活動に適切に対応できる能力と態度を身に付けます。                          |
| 学習の方法 | ・国際的なビジネスに必要な経営・経済の基礎的知識を、具体的事象や事例を通して学習します。<br>・教科書中心ですが、問題集や資料などを適宜利用します。また、新聞記事なども利用し、感想等を発表し、経済事象についての考えをまとめていきます。 |

| 学期            | 単 元                 | 学習内容とねらい  | 観点別評価 |   |   |   |
|---------------|---------------------|---|-------|---|---|---|
|               |                     |   | ①     | ② | ③ | ④ |
| 1<br>学期<br>中間 | 第1章 サービス経済化とサービス産業  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業活動の内容や、企業が果たす役割について理解し、企業が成長するための要因や方策などを学びます。また、企業の国際化・グローバル化の様子について、具体的に見ていきます。</li> <li>・行動の観察、課題プリント、ノート、発表、定期考査</li> </ul>   | A     | B | — | B |
| 1<br>学期<br>末  | 第2章 経済の国際化          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・戦後から今日に至る社会の大きな変化の中で、わが国日本の企業が発展してきた背景を理解し、日本企業の経営の特質について学びます。また、変化の激しい経済社会に、企業経営がどのように対応しているかを学びます。さらに、経済社会の一構成要素として企業の社会的責任について考えてみます。</li> <li>・発表、課題プリント、ノート、小テスト、定期考査</li> </ul>                       | B     | A | B | B |
| 2<br>学期<br>中間 | 第3章 金融市場と資本市場       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業や私たちの生活の営みである家計が構成している国の経済にスポットをあて、わが国の経済社会の変化について、生産・労働・消費の側面から学びます。また、私たちの国の経済の状況はどのような指標で表されているのかなど、経済のしくみについて学習します。さらに、政府の経済活動のしくみと、我が国の金融のしくみについて理解します。</li> <li>・発表、課題プリント、ノート、小テスト、定期考査</li> </ul> | B     | B | — | A |
| 2<br>学期<br>末  | 第4章 企業経営            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・貿易の役割や動向について学ぶとともに、国際収支について理解します。また、外国為替のしくみや、国際的な資金の流れについても学習します。さらに、我が国企業の海外進出の動向や海外進出にともなう企業経営の現地化、国際マーケティングの活動内容とその手法について学びます。</li> <li>・発表、課題プリント、ノート、小テスト、定期考査</li> </ul>                             | B     | B | A | B |
| 3<br>学期       | 第5章 ビジネスの創造と地域産業の振興 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・国際ビジネスにおいて生じる諸課題を具体的に取り上げ、その問題点や対策について考えます。また、戦後から現在に至るまでの国際経済体制の変化や、国際機構の役割について理解します。さらに、地域の発展・成長をねらいとした世界的な地域連携の動向について学びます。</li> <li>・行動の観察、課題プリント、ノート、小テスト、定期考査</li> </ul>                               | B     | B | — | A |

- (備考) 1 1、2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査を実施しない。  
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

## 平成30年度 シラバス

|      |                   |     |               |          |           |
|------|-------------------|-----|---------------|----------|-----------|
| 教科   | 商業                | 科目  | 経済活動と法        | 学年 学科 類型 | 3年 商業科 I型 |
| 単位数  | 3                 | 教科書 | 経済活動と法 (実教出版) |          |           |
| 副教材等 | 経済活動と法 問題集 (実教出版) |     |               |          |           |

|       |  |
|-------|--|
| 学習の目標 | ビジネスに必要な法規に関する基礎的・基本的な知識を習得し、経済社会における法の意義や役割について理解するとともに、経済事象を法的に考え、判断する能力と態度を身に付けます。  |
| 学習の方法 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・法律用語がたくさん出てきますが、ビジネスに必要な法規に関する基礎的・基本的な用語を確認してください。</li> <li>・教科書や問題集の事例をもとに法規を具体的な経済事象と照らしながら理解を深め、法的な思考や判断を行う能力を育てていきます。</li> </ul> |

| 学期            | 単 元              | 学習内容とねらい  | 観点別評価 |   |   |   |
|---------------|------------------|---|-------|---|---|---|
|               |                  |   | ①     | ② | ③ | ④ |
| 1<br>学期<br>中間 | 1章 経済社会と法        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・法とはどんなものか、その本質を明らかにし、法の体系を学習します。</li> <li>・法の分類、効力、適用と解釈などの基本的なことがらを学習します。</li> <li>・発表、課題プリント、ノート、小テスト、定期考査</li> </ul> | A     | — | — | B |
|               | 2章 権利・義務と財産権     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・法律関係が権利・義務の関係で成り立っていることを理解し、権利・義務の主体である自然人や法人について学習します。</li> <li>・発表、課題プリント、ノート、小テスト、定期考査</li> </ul>                    | A     | B | — | B |
| 1<br>学期<br>末  | 2章 権利・義務と財産権     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・財産権についての理解を深めます。特に「物権」について詳しく学習し、経済生活が物をめぐる生活であることを学びます。</li> <li>・発表、課題プリント、ノート、小テスト、定期考査</li> </ul>                   | B     | A | — | B |
|               | 3章 財産権と契約そしてその保護 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・財産権の変動や権利の発生・変更・消滅はほとんどが「契約」によって行われることを理解し、契約の具体的な内容について詳しく学習します。</li> <li>・発表、課題プリント、ノート、小テスト、定期考査</li> </ul>          | B     | B | — | A |
| 2<br>学期<br>中間 | 4章 企業活動に関する法     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業活動をとりまく法律関係について詳しく学習し、商取引に欠かせない「手形」や「小切手」に関する法律関係についても詳しく学習します。</li> <li>・発表、課題プリント、ノート、小テスト、定期考査</li> </ul>          | B     | A | B | B |
| 2<br>学期<br>末  | 5章 取引に関する法       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・私たちの生活を守る法律の存在について学習し、労働に関する諸規定について理解を深めます。また、家族に関する法律関係について学びます。</li> <li>・発表、課題プリント、ノート、小テスト、定期考査</li> </ul>          | B     | B | — | A |
| 3<br>学期       | 6章 企業の責任と法       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・紛争の予防制度、紛争の解決方法などについて理解を深めます。</li> <li>・発表、課題プリント、ノート、小テスト</li> </ul>   | B     | A | — | — |

(備考) 1 1、2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査を実施しない。  
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

平成30年度 シラバス

|      |    |     |              |          |           |
|------|----|-----|--------------|----------|-----------|
| 教科   | 商業 | 科目  | 財務会計Ⅱ        | 学年 学科 類型 | 3年 商業科 I型 |
| 単位数  | 3  | 教科書 | 財務会計Ⅱ (実教出版) |          |           |
| 副教材等 |    |     |              |          |           |

|       |   |
|-------|---|
| 学習の目標 | <p>1 企業のグループ化、国際化、情報化等、経済社会の中で激しく変化している会計の状況について理解します。</p> <p>2 実務に対応した会計に関する知識と技術を習得し、ビジネスの諸活動において合理的に活用する能力と態度を養います。</p>  |
| 学習の方法 | <p>・変化する企業環境と会計ビッグバン以降の会計に関する改正事項をまとめながら、具体的な実務の処理方法を学んでいきます。内容は、高等学校で学ぶ科目の中でも難しいものもありますが、教科書や問題集の例題にまじえて計算の方法を具体的に理解できるようにします。実際の会計処理をしっかりと考えながら知識と実践力を身に付けていきます。</p> <p>・全商会計実務検定試験（11月）の受験は、希望者としています。</p> |

| 学期            | 単元   | 学習内容とねらい   | 観点別評価 |   |   |   |
|---------------|--|--|-------|---|---|---|
|               |  |  | ①     | ② | ③ | ④ |
| 1<br>学期<br>中間 | 第1編 総論<br>1 財務会計の基本概念<br>2 資産負債アプローチと<br>収益費用アプローチ<br>3 会計基準の国際的統合       | <p>・今日の企業環境がどのように変化しているのか、そして、その変化に会計実務がどのように対応しているのか、さらに会計ビッグバンや会計の国際化の現状を理解し、会計実務の果たすべき役割について学習します。</p> <p>・行動の観察、発表、問題集、小テスト、定期考査</p>   | B     | B | A | — |
| 1<br>学期<br>末  | 第2編 各論〔1〕<br>4 資産会計 5 負債会計<br>6 純資産会計 7 リース会計<br>8 税効果会計                 | <p>・今日の会計実務には、新しい領域がたくさん取り入れられています。税効果会計、また外貨建取引の会計、さらにはキャッシュフロー計算書について学習します。</p> <p>・発表、問題集、小テスト、定期考査</p>                                 | A     | — | — | B |
| 2<br>学期<br>中間 | 第3編 各論〔2〕<br>9 外貨換算会計<br>10 キャッシュ・フロー計<br>算書                             | <p>・今日の会計実務には、新しい領域がたくさん取り入れられています。税効果会計、また外貨建取引の会計、さらにはキャッシュフロー計算書について学習します。</p> <p>・発表、問題集、小テスト、定期考査</p>                                 | A     | — | — | B |
| 2<br>学期<br>末  | 第4編 各論〔3〕<br>11 企業結合会計<br>12 連結財務諸表の作成<br>(その1)<br>13 連結財務諸表の作成<br>(その2) | <p>・企業のグループ化とは、どういうことをいうのか、そして企業グループの連結財務諸表は、どのようにして作成するのか、その手続きを学習します。さらに、有価証券報告書から得られる連結情報についても学習します。</p> <p>・行動の観察、発表、問題集、小テスト、定期考査</p> | B     | B | A | — |
|               | 第5編 財務諸表の活用  | <p>・コンピュータを利用した会計処理の特徴と利点について理解し、コンピュータ会計システムの導入および運用は、一般的にどのように行われるのかを学習します。</p> <p>・行動の観察、問題集、定期考査</p>                                   | B     | B | A | — |
| 3<br>学期       | 第6編 監査と職業会計人   | <p>・法人税の所得金額と税額の計算の基本的なしくみを理解し、基本的な例題によって確定申告書の作成について学習します。</p> <p>・行動の観察、発表、問題集、小テスト</p>  | B     | B | A | — |

(備考) 1 定期考査は1、2学期は実施し、3学期は実施しない。  
2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

## 平成30年度 シラバス

|      |     |     |                 |          |           |
|------|-----|-----|-----------------|----------|-----------|
| 教科   | 商 業 | 科 目 | ビジネス情報管理        | 学年 学科 類型 | 3年 商業科 I型 |
| 単位数  | 3   | 教科書 | ビジネス情報管理 (実教出版) |          |           |
| 副教材等 |     |     |                 |          |           |

|       |   |
|-------|---|
| 学習の目標 | 1 企業内の情報通信ネットワークを構築して、円滑に運営する知識と技術を習得します。<br>2 販売情報システムや財務情報システムを開発する知識と技術を習得します。<br>3 ビジネスの諸活動において情報を管理し、共有することの意味や必要性について学習します。 |
| 学習の方法 | この授業では、情報ビジネス科で2年間学んだ知識をもとに、システム開発を行います。データベースのシステムを作る実習を通して、ソフトウェア開発の手順を学び、ビジネスの情報処理に役立つSEの基礎的な技能を養成します。                         |

| 学 期                   | 単 元                    | 学習内容とねらい  | 観点別評価 |   |   |   |
|-----------------------|------------------------|---|-------|---|---|---|
|                       |                        |   | ①     | ② | ③ | ④ |
| 1<br>学<br>期           | 第1章 ビジネスと情報システム        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ビジネスの諸活動における情報システムの活用を取り扱い、業務を合理化するための情報システムの必要性について学習し、セキュリティ管理を行うための基礎的知識と技術を習得します。</li> <li>・課題プリント、小テスト、定期考査</li> </ul> | A     | B | B | B |
|                       | 第2章 情報通信ネットワークの構築と運用管理 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報通信ネットワークの仕組みと通信方法、ネットワーク機器の種類と機能などを取り扱い、情報通信ネットワークを構築し、円滑に運用管理するための基礎的知識と技術を学習します。</li> <li>・課題プリント、小テスト、定期考査</li> </ul>  | B     | B | B | A |
| 2<br>学<br>期<br>中<br>間 | 第3章 ビジネス情報システム開発       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ビジネス情報システム開発に関する基本的な知識と技術を学習します。</li> <li>・課題プリント、小テスト、定期考査</li> </ul>  | B     | A | B | B |
| 2<br>学<br>期<br>末      | 第4章 システム開発実習           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループに分かれて、システム開発を行います。12月下旬にグループ別に作成したシステムについての発表を行います。</li> <li>・システム開発日誌、課題プリント、システム開発作品発表、定期考査</li> </ul>                | B     | B | A | B |
| 3<br>学<br>期           | 第5章 システム開発冊子の作成        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループに分かれて、システム開発の冊子を作成します。1月下旬にグループ別に作成したシステムについての発表を行います。</li> <li>・課題プリント、システム開発日誌、システム開発作品集</li> </ul>                   | B     | B | A | B |

(備考) 1 1学期の定期考査は、期末に行う。2学期の定期考査は、中間・期末に行う。学年末考査は行わない。  
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

## 平成30年度 シラバス

|      |                                 |     |                |          |           |
|------|---------------------------------|-----|----------------|----------|-----------|
| 教科   | 家庭                              | 科目  | フードデザイン        | 学年 学科 類型 | 3年 商業科 I型 |
| 単位数  | 2                               | 教科書 | フードデザイン (実教出版) |          |           |
| 副教材等 | 調理ノート専門編・調理ノート基礎編 (愛媛県家庭科教育研究会) |     |                |          |           |

|       |  |
|-------|--|
| 学習の目標 | <p>1 食事の意義と役割について理解するとともに、作ることから食べるところまでを総合的にとらえて計画する意欲と実践的な態度を身に付けます。</p> <p>2 実習を通して、調理、テーブルコーディネートなどに関する知識と技術を身に付けます。</p> |
| 学習の方法 | <p>・多くの実習を取り入れることで、栄養と調理の関連性を学び、献立作成能力を養います。</p> <p>・テーブルコーディネートやテーブルマナーを取り入れて、作るところから食べるところまで総合的に学習します。</p>                 |

| 学期                                    | 単 元                 | 学習内容とねらい   | 観点別評価 |   |   |   |
|---------------------------------------|---------------------|--|-------|---|---|---|
|                                       |                     |  | ①     | ② | ③ | ④ |
| 1<br>学期<br>中間<br><br><br>1<br>学期<br>末 | 1章 食生活と健康           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・食事の意義や食生活の現状や問題点を理解させ、自分自身の食生活を見直し、改善することができるように学習します。</li> <li>・日本料理栄養計算、ノート</li> </ul>   | B     | B | A | B |
|                                       | 2章 栄養素のはたらきと食事計画    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・食事摂取基準について、自分のエネルギー必要量が計算でき、献立作成に活用できるよう学習します。</li> <li>・栄養計算</li> <li>・弁当献立実習、栄養計算、ノート</li> </ul>   | B     | B | A | B |
|                                       | 3章 食品の特徴・表示・安全      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・食品の特徴、調理上の性質、加工品について理解できるよう学習します。</li> <li>・温泉卵の実験</li> <li>・切り方、概量計算テスト、ノート</li> </ul>  | B     | B | A | B |
| 2<br>学期<br>中間                         | 4章 調理の基本            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な調理器具や調理の手法の基礎理論を学習します。</li> <li>・郷土料理献立実習、ノート</li> </ul>   | B     | B | A | B |
| 2<br>学期<br>末                          | 5章 料理様式とテーブルコーディネート | <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本料理・西洋料理・中華料理について、それぞれの特徴、献立構成、食卓構成、作法について学習します。</li> <li>・米の粉の性質、小麦粉製品の膨化実験</li> <li>・日本料理、西洋料理、中華料理献立実習、ノート</li> <li>・切り方、焼き方テスト、概量計算テスト、ノート</li> </ul> | B     | B | A | B |
| 3<br>学期                               | 6章 フードデザイン実習        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・行事食についてテーブルコーディネートを取り入れ、食事のテーマにふさわしい食卓の整え方や周囲の環境づくりを学習します。</li> <li>・クリスマス献立</li> </ul>  | B     | B | A | B |

(備考) 1、2学期は実技テストを行う。